

「第54回雲南懇話会」開催のご案内

— Yunnan Forum in Kyoto, Dec 2021 / 夢・好奇心・探求心 —

「第54回雲南懇話会」（「京都フォーラム」といいます。）について、下記のとおりご案内申し上げます。
「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及び
周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004年12月に発足。2021年12月で満17年となりました。
この度、17周年を記念して京都フォーラムを京都大学時計台記念館で開催することと致しました。
今回は、事前の参加申込みを必ずお願いします。定員（80名）になり次第、締め切らせていただきます。

記

1. 日 時； 2021年12月18日（土）10時00分～16時00分。 第2部；17時00分～19時00分。

2. 場 所； 京都大学百周年時計台記念館、国際交流ホール2室（国ホI & II）

記念館の概要：[百周年時計台記念館 | 京都大学 \(kyoto-u.ac.jp\)](http://www.kyoto-u.ac.jp)

3. 懇話会の内容 <講演者、演題、講演の順序など変更ある場合は、ご了承をお願い致します。>

午前の部（10時00分～11時45分）

（1）「雲南懇話会の概況と1989年当時の梅里雪山山麓（斯農村、明永村）」

雲南懇話会代表、筑波大学名誉教授 安仁屋政武

（2）【特別講演】 「千日回峰行を生きる」

比叡山延暦寺一山大乗院住職、北嶺大行満大阿闍梨 光永 圓道師

午後の部（13時10分～16時00分）

（3）「パミール・天山7,000mの峰々からヒマラヤの高峰へ」

登山家、高峰ガイド、Snow Leopard Award 受賞者、8000m峰9座登頂者 近藤 和美

（4）「茶を育てて見えてくること —雲南省（徳宏州）南見村と島根県柿木村から—」

雲南懇話会幹事、Tea Literacy 上原 美奈子

（5）【特別講演】 「ゴリラに学ぶ —ヒトの未来、地球の未来—」

人間文化研究機構 総合地球環境学研究所長、前京都大学総長 山極 壽一

4. 第2部 茶話会、スライドショー

（1）「西ネパールの辺境に魅せられて - 河口慧海師の足跡、フムラ・ドルポ越冬 -」

ネパール探求家、美容師、2020年度植村直己冒険賞受賞者 稲葉 香

（2）「中国雲南省明永村、徳欽県の今」

岐阜大学応用生物科学部助教、AACK 田中 貴

5. 参加費用； 懇話会は、一人2,000円。第2部は、一人3,000円。

6. 参加申込先（懇話会・第2部とも事前の申し込みが必要です。）； info*yunnan-k.jp

（SPAMメール防止のため、@を伏せ字にしています。使用时、変換願います。） 以上

京都開催の経緯： 雲南懇話会は、首都圏・関東甲信越・東海を中心に活動しておりますが、京都・滋賀・大阪を中心とする中部・近畿・中国四国九州の皆様にも大変なご支援ご協力を頂戴してきました。17周年を記念するこの機会に、西日本地域の皆様にも「感謝」と「御礼」を申し上げるべく、京都での開催と致しました。本来、2020年5月そして2021年5月に京都大学で開催する予定でしたが、何れも新型コロナウイルス感染拡大防止の為、重ね重ね延期したものです。今回、万々緊急事態宣言が発出された場合には、オンライン開催に切り替えるべく備えて参ります。 文責：雲南懇話会代表幹事 前田 栄三